

大会テーマ

福祉図書文献研究、その先へ

参加申込み
8/23締切

日本福祉図書文献学会第17回全国大会

会期 2014年9月14日（日）10:00-17:30 会場 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学SKホール



基調講演 10:20~11:50

研究レビューの意義と方法

—実践に役立つ介入アプローチ開発のために—

講師：副田 あけみ 氏

（関東学院大学教授・東京都立大学名誉教授）

専門はソーシャルワーク論、高齢者福祉論。

著書に『高齢者と福祉一ヶのあり方』（編著）、『社会福祉援助技術論』（単著）他

A 研究発表 13:30-14:40

1. 社会保障研究の方法論に関する一考察
—社会運動の位置づけめぐって—
村田 隆史（八戸学院大学）
2. 日本国憲法25条の形成過程とその思想
富家 貴子（金沢大学大学院博士後期課程）
3. 植田寿之師のスーパービジョン
—物語で学ぶ対人援助職場の人間関係、自己覚知から成長へ—
三好 明夫（京都ノートルダム女子大学）

B 研究実践報告 14:50-16:30

4. 福祉と教育の接点
—特別支援学校に在籍する知的障害児に対する指導法の充実を目指して—
安田 誠人（大谷大学）
吉弘 淳一（福井県立大学）
井村 圭壯（岡山県立大学）
5. 保育者の保護者支援についての学び
—保育ソーシャルワークで学ぶ相談支援—
永野 典詞（九州ルーテル学院大学）
6. 「ゆりかごから墓場まで」の社会保障
倉橋 弘（神戸医療福祉大学）
7. 職員が今よりも少し元気になる出会いを模索して
杉山 雅宏（東北薬科大学）
8. 相談援助演習教材の開発研究
相澤 謙治（神戸学院大学）

C 自由文献報告 16:40-17:20

9. 社会福祉政策研究を振り返って—福祉政治論を中心に—
松井 圭三（中国短期大学）
10. 子ども家庭支援センター職員における職業性ストレスの要因と
ストレス反応及び修飾要因との関連性
田中 康雄（浦和大学）

A 研究発表



福祉関連の領域で影響力のあった著名な先達諸氏の文献や著作をとりあげ、その解題や分析を通して、著作が果たした歴史的意義や今日的課題などに光を当てていきます。

B 実践報告



学会員が出版した、あるいは出版を予定している著書を、ご自分の「研究実践報告」という形で公表していただきます。

C 自由報告



専門職教育・研修等の実践、社会的活動についての学会員自身による記録等※を、ご自分の「自由文献報告」という形で報告していただきます。

※「記録等」には、調査報告書、マニュアル、文集、会報、新聞、だより、記念誌、DVD、CD、授業や研修での教材等を含みます。

お問い合わせ先

日本福祉図書文献学会第17回全国大会実行委員会（担当：仲田勝美）

〒444-0015 愛知県岡崎市中町1丁目8-4 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学

TEL 0564-22-1295（代表） FAX 0564-28-3310 E-mail nakada@okazaki-u.ac.jp

日本福祉図書文献学会第17回全国大会

大会テーマ 福祉図書文献研究、その先へ

2014年夏。皆さまにはお元気でご活躍のことと存じ上げます。早いもので昨年16回（大阪）大会の開催から10か月が経とうとしています。

日本福祉図書文献学会は1998年日本福祉士教育学会を前身として発足以来、17年目を迎えるとしています。これまで皆さまのご協力を得て懸命に学会活動を続けてまいりました。学術集会、機関誌やニュースの編集発行、学会員が中心となっての図書の刊行等、1つ1つが活動の積み重ねとなっております。どの活動につきましても、これまで築き上げてこられた諸先輩方のご尽力に感謝をするとともに、より一層の充実を図りたいと思います。

本大会は、実践に役立つ文献の開発について、副田あけみ氏（関東学院大学教授・東京都立大学名誉教授）をお招きしての基調講演を企画しました。研究発表等には前年と同じく二桁に上る応募をいただきました。

福祉図書文献研究にはどのような意義があるのか、またその方法についてはどうか、一緒に考えてみませんか。皆さまが名古屋の地においてくださることを実行委員一同お待ちしております。

第17回全国大会 実行委員会一同

- 主 催：日本福祉図書文献学会・日本福祉図書文献学会第17回全国大会実行委員会
- 日 時：2014年9月14日（日）
学術集会 10:00～17:30（9:30開場）（総会 13:00～13:30） 交流会・懇親会 18:30
- 会 場：岡崎女子大学・岡崎女子短期大学（裏面地図をご参照ください。）
- 対 象：学識経験者、大学院生、学生、福祉・医療・心理・教育関係者、その他本会に関心をお持ちの方
- 定 員：150名（申込先着順）
- 参加費：5,000円（ただし学生・一般の方、資料代500円のみ） **お弁当代1,000円**（周辺にお店なくお薦めです） 交流会費5,000円
●当日受付にて直接支払いとなります。当日欠席される場合には必ずご一報下さい。
- 申 込：本紙に以下の項目をご記入の上、8月23日（土）までに事務局へFAXにてお送りください。
●会員および参加申込者には開催10日前頃までに事前に大会プログラム・要旨集を郵送いたします。
●定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。定員が超過した場合には、メールもしくはFAXにてご連絡いたします。

（本紙は切り取らず、そのままお送りください）

日本福祉図書文献学会 第17回全国大会 参加申込書 **送り先FAX:0564-28-3310**

氏名 (ふりがな)		申込日	2014年 月 日
所属 (団体、学校等)	<input type="checkbox"/> 学会員・非学会員（教育研究者） <input type="checkbox"/> 学生・一般（教育研究者以外）（いづれかをチェックしてください）		
申込	<input type="checkbox"/> 大会への参加	<input type="checkbox"/> お弁当（周辺にお店が少なくお薦めです）	<input type="checkbox"/> 交流会・懇親会（事前申込者のみ参加可です）
郵送先 連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場（必ず職場名を記載してください）（いづれかをチェックしてください） 住所：〒 TEL/FAX： E-mail：		

※皆様よりご提供いただいた個人情報は主催者が管理し、大会運営目的以外には使用いたしません。

お問い合わせ先

日本福祉図書文献学会第17回全国大会実行委員会（担当：仲田勝美）
〒444-0015 愛知県岡崎市中町1丁目8-4 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
TEL 0564-22-1295（代表）FAX 0564-28-3310 E-mail nakada@okazaki-u.ac.jp

事務局記入欄

プログラム

2014年9月14日(日)

※本プログラムは予告なく変更する場合があります。

プログラム	時 間	内 容
開 会	9:30~10:00	受付、オリエンテーション
	10:00~10:20	開会挨拶
	10:20~11:50	●基調講演 文献レビューの意義と方法 一実践に役立つ介入アプローチ開発のために一 講師：副 田 あけみ 氏 (関東学院大学教授・東京都立大学名誉教授)
	11:50~13:00	昼食休憩 飲食店僅かです。お弁当を事前申込いただくか、各自でご用意ください。
	13:00~13:30	総 会
	13:30~14:40	●研究発表 社会保障研究の方法論に関する一考察 一社会運動の位置づけをめぐって一 村 田 隆 史 (八戸学院大学) 日本国憲法25条の形成過程とその思想 富 家 貴 子 (金沢大学大学院博士後期課程) 植田寿之師のスーパービジョン 一物語で学ぶ対人援助職場の人間関係、自己覚知から成長へ一 三 好 明 夫 (京都ノートルダム女子大学)
	14:40~14:50	休 憩
学術集会	14:50~16:30	●研究実践報告 福祉と教育の接点 一特別支援学校に在籍する知的障害児に対する指導法の充実を目指して一 安 田 誠 人 (大谷大学) 吉 弘 淳 一 (福井県立大学) 井 村 圭 壮 (岡山県立大学) 保育者の保護者支援についての学び 一保育ソーシャルワークで学ぶ相談支援一 永 野 典 詞 (九州ルーテル学院大学) 「ゆりかごから墓場まで」の社会保障 倉 橋 弘 (神戸医療福祉大学) 職員が今よりも少し元気になる出会いを模索して 杉 山 雅 宏 (東北薬科大学) 相談援助演習教材の開発研究 相 澤 謙 治 (神戸学院大学)
	16:30~16:40	休 憩
	16:40~17:20	●自由文献報告 社会福祉政策研究を振り返って 一福祉政治論を中心に一 松 井 圭 三 (中国短期大学) 子ども家庭支援センター職員における職業性ストレスの要因と ストレス反応及び修飾要因との関連性 田 中 康 雄 (浦和大学)
閉 会	17:20~17:30	次期開催校挨拶、閉会挨拶
交 流 会	18:30~	交流会・懇親会 東岡崎駅前へ移動 バードスペース

周辺地図

